

maonline.jp

スーパーバリュー<3094>、神奈川県を中心にスーパー展開のロピア・ホールディングスの傘下に

スーパーバリューは15日、神奈川県を中心にスーパーマーケット事業を展開するロピア・ホールディングス(川崎市)に対し、第三者割当増資を行い、ロピアの傘下に入ると発表した。ロピアはスーパーバリュー株の33%余りを持つ第2位株主で、増資引き受けに伴い所有割合が51.62%に高まり、親会社となる。引受額は約22億9800万円で、払込期日は8月31日。スーパーバリューは東証スタンダードへの上場は維持する。

スーパーバリューはスーパー24店、スーパーとホームセンターの複合店舗10店の合計34店を埼玉県、東京都、千葉県で運営する。2022年2月期業績は売上高が前年同月比9.6%減の720億8400万円、営業赤字8億300万円(前期は13億600万円の黒字)。2023年2月期も同様の厳しい業績が予想され、財務状況が悪化している。こうした中、大規模な資本注入を受け、財務基盤を安定させるとともに、中長期的な発展に向けた体制づくりが必要と判断した。

スーパーバリュー株の割当価格は1株952円。直前1か月の終値の平均1098円に対して13.28%低い。

ロピアはスーパー65店を運営し、2022年2月期の売上高は2469億円。ロピアが神奈川県を地盤とするのに対し、スーパーバリューは埼玉県、東京都の店舗数でロピアを上回り、店舗のエリア補完が期待できるほか、ホームセンター部門を持たないロピア店舗への商品供給なども進める。